

# かんたんボックス保存 取扱説明書



その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

#### ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。  
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

## はじめに

---

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、かんたんボックス保存に含まれる各機能の操作方法、および使用上の注意事項について記載しています。本機能のご使用にあたっては、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの機械の操作方法については、機械に同梱されている『管理者ガイド』や『ユーザーズガイド』などのマニュアルをご覧ください。

富士ゼロックス株式会社

## 本書の使い方

---

本書は、お使いの機械に本アプリケーションをインストールしたうえで、ユーザーがアプリケーションの操作を行う方法や、管理者が各機能の設定を行う方法などについて記載しています。

## 本書の構成

---

本書は、次の構成になっています。

### ■動作環境

「かんたんボックス保存」の動作環境について説明しています。

### ■環境設定

「かんたんボックス保存」を使用するために必要な環境設定について説明しています。

### ■かんたんボックス保存

「かんたんボックス保存」の基本的な操作方法や機能、管理者設定などについて説明しています。

## 本書の表記

- 機械のソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

### 注記

- 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

### 補足

- 補足事項を記述しています。

### 参照

- 参照先を記述しています。
- 本文中では、次の記号を使用しています。

「     」	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本書内にある参照先を表しています。</li> <li>• 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。</li> </ul>
『     』	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 参照するマニュアルを表しています。</li> </ul>
[     ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。</li> <li>• コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。</li> </ul>
<     > ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。</li> </ul>
<     > キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューターのキーボード上のキーを表しています。</li> </ul>
>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。 例：「[仕様設定 / 登録] &gt; [登録 / 変更] &gt; [ボックス登録] を選択します。」は、「[仕様設定 / 登録] を押して、[登録 / 変更] を押したあと、[ボックス登録] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。</li> <li>• コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。 例：「[スタート] &gt; [検索] &gt; [他のコンピュータ] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピュータ] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。</li> <li>• 参照先は、次のように表しています。 例：『管理者ガイド』の「5 仕様設定」 &gt; 「共通設定」 &gt; 「音の設定」を参照してください。」は、管理者ガイドの「5 章 仕様設定」内の、「共通設定」での「音の設定」を参照することを表しています。</li> </ul>

# 目次

---

はじめに .....	3
本書の使い方 .....	4
本書の構成 .....	4
本書の表記 .....	5
目次 .....	6
動作環境 .....	7
複合機 .....	7
環境設定 .....	8
複合機の設定 .....	8
インストール .....	10
かんたんボックス保存を利用するための環境設定 .....	10
かんたんボックス保存 .....	11
スキャンする .....	11
スキャンを中止する .....	13
各画面について .....	13
ワンタッチアプリを作成する .....	21
アプリを複製する .....	23
管理者設定 .....	25
トラブル対処 .....	28
注意 / 制限事項 .....	30
索引 .....	31

## 動作環境

---

かんたんボックス保存をインストールする前に、対応機種や動作環境を確認し、複合機での設定をしておく必要があります。

### 複合機

---

かんたんボックス保存は次の環境で動作します。お使いの複合機の環境が条件を満たしていない場合は、必要なオプションを増設してください。

- 内蔵ハードディスク搭載機
- システムメモリー 2 GB 以上搭載機
- プリンターキット搭載機
- スキャナーキット搭載機

#### 補足

- ソリッドステートドライブを装着した複合機をお使いの場合、「ハードディスク」は、「ソリッドステートドライブ」と読み替えてください。

お使いの複合機が、内蔵ハードディスク、およびシステムメモリーの環境が条件を満たしているかを確認する手順は、次のとおりです。

- 1 操作パネルの〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。
- 2 [機械状態 レポート出力] タブの [機械構成] を押します。
- 3 [内蔵ハードディスク] の項目が表示されていることと、[システムメモリーサイズ] の項目が 2,048 MB 以上であることを確認します。
- 4 メニュー画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

## 環境設定

お使いの複合機で、かんたんボックス保存を利用するための環境を設定します。

### 補足

- かんたんボックス保存を使用するには、次のどちらかが必要です。
  - カスタムサービスと組み込みプラグイン機能を有効にする
  - ソフトウェアオプションのパスワードを設定する

どちらの方法で設定するかは機種によって異なります。詳しい手順は『複合機のソフトウェアオプション設定ガイド』を参照してください。

## 複合機の設定

次の設定が必要です。

項目	設定内容	参照
SOAP ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SOAP ポート：起動</li> <li>• ポート番号：80</li> </ul>	「SOAP ポート」(P.8)
プロトコル設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための設定</li> </ul>	「プロトコル設定」(P.9)
Web ブラウザー設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [外部アクセスバージョンの選択]：[V5]</li> <li>• [終了時のキャッシュ削除]：[しない]</li> <li>• [キャッシュの使用]：[する]</li> </ul>	「Webブラウザ設定」(P.9)

なお、認証機能を利用する場合は、次のように設定されているか確認してください。

項目	設定内容	参照
認証方式の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [認証方式の設定]：[本体認証]または[外部認証]</li> <li>• ユーザーの登録</li> </ul>	「認証方式の設定」(P.9)
アクセス制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [デバイスへのアクセス]：[制限する]</li> </ul>	「アクセス制御」(P.10)

### 注記

- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、かんたんボックス保存でサービスの利用制限が適用されません。そのため、コピーやスキャンの利用を制限していても、かんたんボックス保存は利用可能な状態となります。
- 本機能は、[認証方式の設定] を [認証しない] に設定し、IC Card Gate (関連商品)、および IC カードリーダー (オプション) を接続している場合、IC カードの情報を利用できません。

### 参照

- 各設定の詳細な手順については、『管理者ガイド』を参照してください。

### 補足

- 設定内容によっては、複合機の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。

## SOAP ポート

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 2 次の項目を設定します。
  - [SOAP - ポート]：[起動]

- [SOAP - ポート番号] : [80]
- 3 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
  - 4 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

## プロトコル設定

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP - ネットワーク設定] を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための項目を設定します。
- 2 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 3 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

## Web ブラウザー設定

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [Web ブラウザー設定] > [外部アクセスバージョンの選択] を選択し、[確認 / 変更] を押します。  
補足
  - [Web ブラウザー設定] が表示されない場合は、ソフトウェアオプションのパスワード設定、またはカスタムサービスの有効化が必要です。
- 2 [V5] を選択し、[決定] を押します。
- 3 [終了時のキャッシュ削除] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 4 [しない] を選択し、[決定] を押します。
- 5 [キャッシュの使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6 [する] を選択し、[決定] を押します。
- 7 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 8 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

## 認証方式の設定

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] を押します。
- 2 [本体認証] または [外部認証] を選択し、[決定] を押します。
- 3 本体認証の場合は、本機能を使用するユーザーを登録します。  
[仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を押します。  
補足
  - 外部認証の場合は、手順9に進みます。
- 4 登録する番号を選択し、[登録 / 確認] を押します。

- 5 登録する User ID を入力し、[決定] を押します。
- 6 [ユーザー名] を押して、登録するユーザー名を入力し、[決定] を押します。
- 7 必要に応じて、その他の項目を設定し、[閉じる] を押します。
- 8 手順 4～7 を繰り返し、ユーザーを登録します。
- 9 [閉じる] を押します。
- 10 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

## アクセス制御

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] > [デバイスへのアクセス] を選択します。
- 2 [制限する] を選択し、[決定] を押します。
- 3 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 4 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

## インストール

---

かんたんボックス保存をインストールします。

インストール手順については、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

インストールが終了したら、「かんたんボックス保存を利用するための環境設定」(P.10) を参照して、必要な設定をしてください。

### 参照

- バージョンアップ、またはアンインストールする場合も、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

## かんたんボックス保存を利用するための環境設定

---

かんたんボックス保存を利用するためには、複合機に親展ボックスを登録する必要があります。

- 認証機能を利用している場合  
各認証ユーザーが親展ボックスを登録する。または機械管理者がパスワードのない親展ボックスを登録する。
- 認証機能を利用していない場合  
一般ユーザー、または機械管理者が、パスワードのない親展ボックスを登録する。

### 参照

- 詳細な手順については、『管理者ガイド』を参照してください。

# かんたんボックス保存

「かんたんボックス保存」とは、簡単な手順で、スキャンしたデータを親展ボックスに保存できる機能です。

文書を保存できる親展ボックスだけが表示されるので、保存先が簡単に選択できます。

また、機能の設定値を変更してワンタッチアプリを作成したり、機能の初期値や並び順を変更したものを複製して「かんたんボックス保存」とは別の機能ボタンを作成したりできます。

ここでは、本機能に関する、次の項目について説明します。

スキャンする .....	11
スキャンを中止する .....	13
各画面について.....	13
ワンタッチアプリを作成する .....	21
アプリを複製する .....	23
管理者設定 .....	25
トラブル対処 .....	28
注意 / 制限事項.....	30

## スキャンする

「かんたんボックス保存」の、基本的な操作の流れを説明します。

### 1 原稿をセットします。

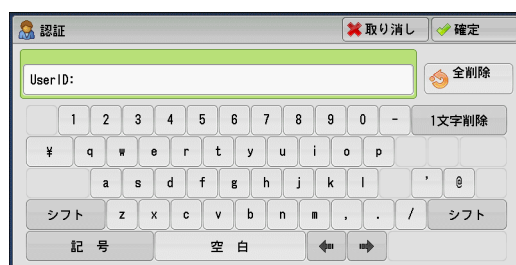
#### 参照

- 原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

### 2 認証機能を利用している場合は、認証モードに入ります。

1) 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

2) 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



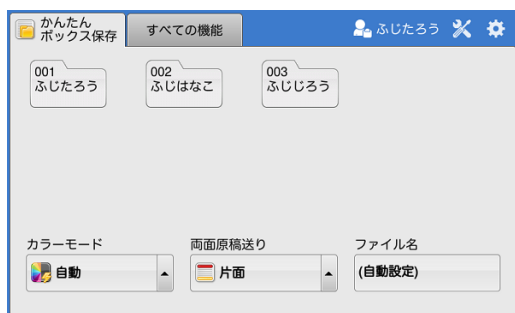
#### 補足

- パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- ICカードを使用している場合は、ICカードをICカードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

3 メニュー画面で、[かんたんボックス保存] を押します。



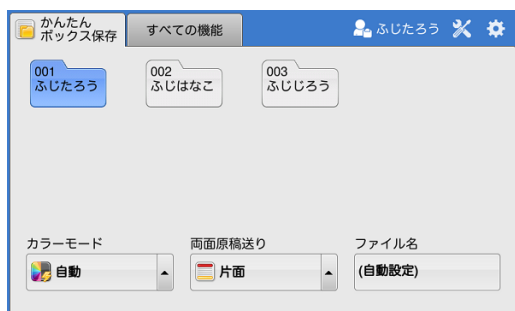
4 スキャンしたデータを保存する親展ボックスを選択します。



補足

- 親展ボックスが1つしか表示されていない場合は、すでに選択された状態となります。

5 必要に応じて、各項目を設定します。



参照

- 各設定項目について、詳しくは「各画面について」(P.13) を参照してください。

6 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。

注記

- 通常のメニュー画面から本機能を起動した場合、本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。

7 親展ボックスに文書が格納されていることを確認します。

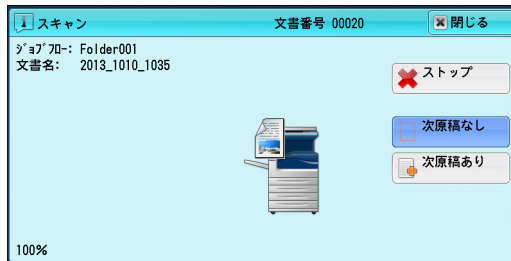
参照

- 親展ボックスに格納された文書を確認する方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

## スキャンを中止する

スキャンを中止する手順について説明します。

- 1 操作パネルの〈ストップ〉ボタン、またはタッチパネルディスプレイの [ストップ] を押します。



- 2 [中止] を押します。

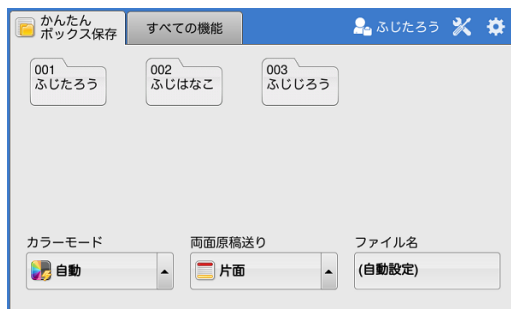


## 各画面について

ここでは、各画面で設定できる項目について説明します。

### [かんたんボックス保存] 画面

[かんたんボックス保存] 画面で設定できる項目について説明します。



### ■ ボタン

このボタンを押すと、管理者設定画面が表示されます。

#### 参照

- 管理者設定画面については、「管理者設定」(P.25) を参照してください。

#### 補足

- このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

## ■ ボタン

このボタンを押すと、[ワンタッチアプリの作成]、[アプリの複製]、または[初期値保存]を選択できます。

### • ワンタッチアプリの作成

現在、[かんたんボックス保存] 画面、および [すべての機能] 画面で設定している内容で、ワンタッチアプリを作成できます。

選択すると、[ワンタッチアプリの作成] 画面が表示されます。

#### 参照

- 詳しくは、「ワンタッチアプリを作成する」(P.21) を参照してください。

### • アプリの複製

現在、[かんたんボックス保存] 画面、および [すべての機能] 画面で設定している内容でアプリを複製し、「かんたんボックス保存」とは別の機能ボタンを作成できます。

選択すると、[アプリの複製] 画面が表示されます。

#### 参照

- 詳しくは、「アプリを複製する」(P.23) を参照してください。

### • 初期値保存

現在、[かんたんボックス保存] 画面、および [すべての機能] 画面で設定している内容を、初期値として保存できます。

選択すると、確認画面が表示されるので、[はい (保存する)] を押します。

## ■ カラーモード

[自動]、[フルカラー]、[グレースケール (256 階調)]、[白黒 (2 階調)] から選択します。

#### 補足

- カラーキャンを禁止されたユーザーが [自動]、[フルカラー] を選択した場合、および白黒キャンを禁止されたユーザーが [自動]、[グレースケール (256 階調)]、[白黒 (2 階調)] を選択した場合、エラーメッセージが表示され、設定できません。

## ■ 両面原稿送り

[片面]、[両面 (左右開き)]、[両面 (上下開き)] から選択します。

#### 補足

- [ページ連写] 画面で、ページ連写の設定をしている場合は、[両面 (左右開き)]、および [両面 (上下開き)] は設定できません。

## ■ ファイル名

選択すると、[ファイル名] 画面が表示されます。

#### 参照

- 詳しくは、「[ファイル名] 画面」(P.18) を参照してください。

#### 注記

- 言語をタイ語に設定している場合は、[ファイル名] は表示されません。代わりに [読み取り解像度] が表示されます。[読み取り解像度] については、「読み取り解像度」(P.17) を参照してください。

## [すべての機能] 画面

[すべての機能] 画面で設定できる項目について説明します。



### ■ ボタン

このボタンを押すと、管理者設定画面が表示されます。

#### 参照

- 管理者設定画面については、「管理者設定」(P.25) を参照してください。

#### 補足

- このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

### ■ ボタン

このボタンを押すと、[ワンタッチアプリの作成]、[アプリの複製]、[初期値保存]、または[リストの編集]を選択できます。

#### • ワンタッチアプリの作成

現在、[かんたんボックス保存] 画面、および [すべての機能] 画面で設定している内容で、ワンタッチアプリを作成できます。

選択すると、[ワンタッチアプリの作成] 画面が表示されます。

#### 参照

- 詳しくは、「ワンタッチアプリを作成する」(P.21) を参照してください。

#### • アプリの複製

現在、[かんたんボックス保存] 画面、および [すべての機能] 画面で設定している内容でアプリを複製し、「かんたんボックス保存」とは別の機能ボタンを作成できます。

選択すると、[アプリの複製] 画面が表示されます。

#### 参照

- 詳しくは、「アプリを複製する」(P.23) を参照してください。

#### • 初期値保存

現在、[かんたんボックス保存] 画面、および [すべての機能] 画面で設定している内容を、初期値として保存できます。

選択すると、確認画面が表示されるので、[はい (保存する)] を押します。

#### • リストの編集

[すべての機能] 画面の項目の表示順を変更できます。よく設定する項目を、上に配置しておくとう便利です。

選択すると、[リストの編集] 画面が表示されます。

#### 参照

- 詳しくは、「[リストの編集] 画面」(P.17) を参照してください。

### ■原稿セット向き指定

選択すると、[原稿セット向き指定] 画面が表示されます。

原稿をセットする向きを、[読める向き]、[左向き] から選択し、[閉じる] を押してください。

#### 補足

- [ページ連写] 画面で [左とじ原稿 (よこ書き)]、[右とじ原稿 (たて書き)]、または [上とじ原稿] を設定している場合、この項目は設定できません。

### ■読み取りサイズ

選択すると、[読み取りサイズ] 画面が表示されます。

原稿のサイズを選択し、[閉じる] を押してください。

### ■原稿の画質

[文字 / 写真]、[文字]、[写真] から選択します。

### ■読み込み濃度

[こく (+ 3)]、[こく (+ 2)]、[こく (+ 1)]、[ふつう]、[うすく (+ 1)]、[うすく (+ 2)]、[うすく (+ 3)] から、読み込み濃度を 7 段階で調節できます。

### ■ページ連写

選択すると、[ページ連写] 画面が表示されます。

#### 参照

- 詳しくは、「[ページ連写] 画面」(P.20) を参照してください。

### ■画質 / ファイルサイズ

選択すると、[画質 / ファイルサイズ] 画面が表示されます。

#### 参照

- 詳しくは、「[画質 / ファイルサイズ] 画面」(P.21) を参照してください。

### ■裏写り防止

薄い紙に両面にプリントしてある原稿などをスキャンする場合、原稿の裏が写らないようにできます。[する]、[しない] から選択します。

### ■白紙除去

原稿に白紙ページがあった場合は、そのページを除いてスキャンできます。[する]、[しない] から選択します。

### ■追加原稿

スキャン開始後の画面の [次原稿あり]、[次原稿なし] の選択状態を設定できます。

[なし] を選択すると、スキャン開始後の画面では [次原稿なし] が選択されている状態になります。次原稿がある場合は [次原稿あり] を押す必要があります。

[あり] を選択すると、スキャン開始後の画面では [次原稿あり] が選択されている状態になります。次原稿がある場合はそのままスキャンし、最終原稿のときだけ [次原稿なし] を押します。

### ■ミックスサイズ原稿送り

いろいろなサイズの原稿を一度に読み取って、それぞれのサイズにスキャンしたり、1つのサイズにそろえてスキャンしたりできます。[する]、[しない] から選択します。

## ■地色除去

新聞や、下地（背景）に色が付いている原稿の、下地の色を除いてスキャンできます。[する]、[しない] から選択します。

## ■カラーモード

参照

- [カラーモード] については、「カラーモード」(P.14) を参照してください。

## ■両面原稿送り

参照

- [両面原稿送り] については、「両面原稿送り」(P.14) を参照してください。

## ■読み取り解像度

[200dpi]、[300dpi]、[400dpi]、[600dpi] から選択します。

## ■ファイル名

選択すると、[ファイル名] 画面が表示されます。

参照

- 詳しくは、「[ファイル名] 画面」(P.18) を参照してください。

注記

- 言語をタイ語に設定している場合、設定できません。

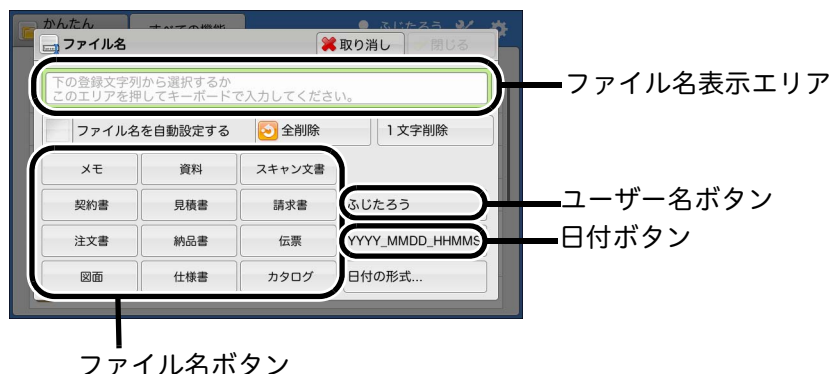
## [リストの編集] 画面

[リストの編集] 画面では、[すべての機能] 画面の項目の表示順を変更できます。表示順を変更したい項目をロングタップし、そのまま移動したい位置にドラッグ & ドロップすると、順番を入れ替えることができます。



## [ファイル名] 画面

[ファイル名] 画面では、スキャンデータのファイル名を入力したり、あらかじめ登録されているパターンから選択したりできます。



### 注記

- 言語をタイ語に設定している場合、設定できません。
- メール送信のジョブフローが関連付けられている親展ボックスを利用する場合、ここで設定したファイル名は反映されません。

### 補足

- ファイル名は、全角 32 文字以内、半角 64 文字以内で入力できます。ただし、CentreWare Internet Services を利用してスキャンデータを取り出す場合は、全角 14 文字以内、半角 64 文字以内で入力してください。
- ファイル名ボタンとユーザー名ボタンなど、複数のボタンを押すことで、項目を組み合わせたファイル名を設定することもできます。その場合、項目と項目の間に自動で「\_」が入ります。
- 「¥」(半角)、「-」(全角)、および「~」(全角)を入力した場合、正しく表示されません。

### ■ファイル名表示エリア

設定したファイル名が表示されます。

ファイル名は、ファイル名表示エリアを押すと表示されるキーボードを使って直接入力する方法と、ファイル名ボタンやユーザー名ボタンを使って入力する方法があります。

### ■ファイル名を自動設定する

チェックすると、自動でファイル名が「YYYY\_MMDD\_HHMMSS」に設定されます。

#### 補足

- 「YYYY\_MMDD\_HHMMSS」は、スキャン開始時の年月日時分秒です。

### ■全削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの、すべての文字を削除します。

### ■1文字削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの最後の 1 文字を削除します。

### ■ファイル名ボタン

各ボタンを押すと、ボタンの文字列がファイル名として設定されます。

## ■ユーザー名ボタン

認証ユーザーが利用している場合、ユーザー名が表示されます。このボタンを押すと、ユーザー名がファイル名として設定されます。

### 補足

- 認証機能を利用していない場合は、表示されません。

## ■日付ボタン

日付が表示されます。このボタンを押すと、日付がファイル名として設定されます。

### 補足

- 日付をファイル名として設定した場合、ファイル名表示エリアで日付部分の「SS」だけを削除できます。たとえば、ファイル名表示エリアに「YYYY\_MMDD\_HHMMSS」が表示された状態で「SS」を削除すると、ファイル名は「YYYY\_MMDD\_HHMM」の形式になります。ただし、削除できるのは「SS」だけです。「SS」以外の文字列を削除したり変更したりすると、日付として認識されない場合があります。

## ■日付の形式

選択すると、[ファイル名 - 日付の形式] 画面が表示されます。

### 参照

- 詳しくは、「[ファイル名 - 日付の形式] 画面」(P.19) を参照してください。

## [ファイル名 - 日付の形式] 画面

[ファイル名] 画面の、日付ボタンに表示される日付の、形式を設定できます。



## ■区切り文字

YYYY、MMDD、DDMM、HHMMSS の区切りを [(なし)]、[\_]、[-]、[.]、[年月日] から選択します。

## ■日付けの表示形式

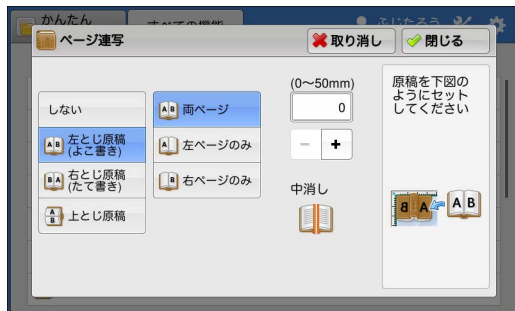
日付の表示形式を選択します。

### 補足

- [区切り文字] で選択した項目が、[日付けの表示形式] の選択項目に反映されます。
- 「YYYY\_MMDD\_HHMM」の形式をファイル名にしたい場合は、直接ファイル名表示エリアに「YYYY\_MMDD\_HHMM」と入力します。または、日付ボタンを押してファイル名表示エリアに「YYYY\_MMDD\_HHMMSS」を表示してから、「SS」を削除します。

## [ページ連写] 画面

ページ連写とは、本などの冊子の見開きページを別々のページとして、ページ順にスキャンする機能です。原稿の左右のページを分けてスキャンしたいときに便利です。



### 補足

- この機能は、原稿送り装置では使用できません。
- 定形サイズ以外の原稿やサイズを検知できない原稿などは、正確に2分割されないことがあります。
- [かんたんボックス保存] 画面、および [すべての機能] 画面の [両面原稿送り] で、[両面 (左右開き)]、または [両面 (上下開き)] に設定している場合、ページ連写を設定すると、自動で [片面] に変更されます。

### ■しない

ページ連写をしません。

### ■左とじ原稿 (よこ書き)

左ページから始まる見開き原稿の左のページからスキャンします。

#### 補足

- [すべての機能] 画面の [原稿セット向き指定] で、[左向き] に設定している場合、[左とじ原稿 (よこ書き)] を設定すると、自動で [読める向き] に変更されます。

### ■右とじ原稿 (たて書き)

右ページから始まる見開き原稿の右のページからスキャンします。

#### 補足

- [すべての機能] 画面の [原稿セット向き指定] で、[左向き] に設定している場合、[右とじ原稿 (たて書き)] を設定すると、自動で [読める向き] に変更されます。

### ■上とじ原稿

上ページから始まる見開き原稿の上のページからスキャンします。

#### 補足

- [すべての機能] 画面の [原稿セット向き指定] で、[読める向き] に設定している場合、[上とじ原稿] を設定すると、自動で [左向き] に変更されます。

### ■両ページ

両方のページをページ順にスキャンします。

### ■左ページのみ

左ページだけをスキャンします。[左とじ原稿 (よこ書き)] または [右とじ原稿 (たて書き)] を選択している場合に選択できます。

### ■右ページのみ

右ページだけをスキャンします。[左とじ原稿 (よこ書き)] または [右とじ原稿 (たて書き)] を選択している場合に選択できます。

### ■上ページのみ

上ページだけをスキャンします。[上とじ原稿] を選択している場合に選択できません。

### ■下ページのみ

下ページだけをスキャンします。[上とじ原稿] を選択している場合に選択できません。

### ■中消し

見開き原稿の中央部の影を消します。中消しの幅は、0～50mmの範囲から、1mm単位で指定します。

数値は、次の方法で入力できます。

- 数値入力ボックスを押すと表示される、数字ボタンを使って入力する

#### 補足

- 入力を間違えた場合は、[C] を押して、入力し直します。入力後 [OK] を押すと、数字ボタンが非表示になります。
- [+], [-] を押して入力する
- 操作パネルの〈数字〉ボタンを使って入力する

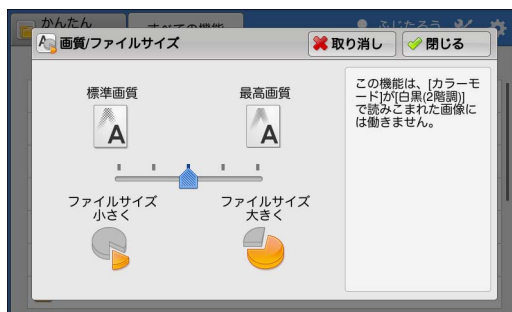
#### 補足

- 入力を間違えた場合は、操作パネルの〈クリア (C)〉ボタンを押して、入力し直します。

## [画質 / ファイルサイズ] 画面

[画質 / ファイルサイズ] 画面では、画質とファイルサイズを設定します。

[標準画質] [ファイルサイズ小さく] から [最高画質] [ファイルサイズ大きく] の間で、5段階で設定できます。



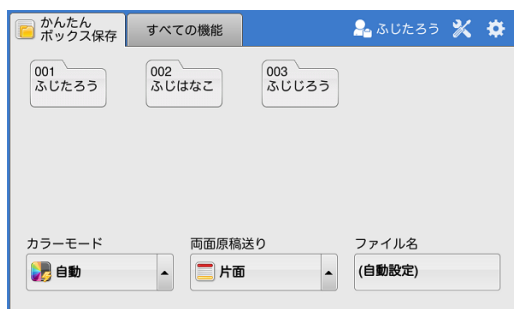
## ワンタッチアプリを作成する

「かんたんボックス保存」の機能の設定値を変更し、ワンタッチアプリを作成できます。

#### 補足


- ワンタッチアプリは、かんたんメニュー画面だけで作成、および利用できます。通常のメニュー画面で操作しているときは、[ワンタッチアプリの作成] メニューは表示されません。

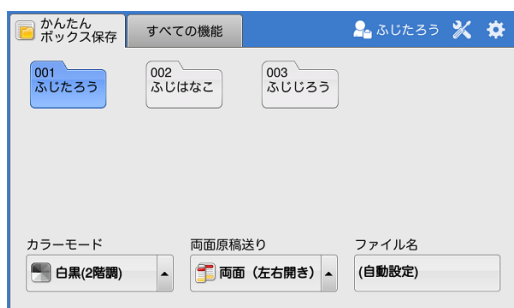
- 1 [かんたんボックス保存] 画面、または [すべての機能] 画面で、作成したいワンタッチアプリの機能を設定します。



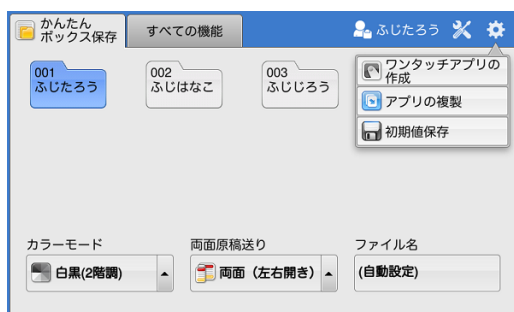
補足

- ここでは、親展ボックスの001を選択し、[カラーモード]を[白黒(2階調)]に、[両面原稿送り]を[両面(左右開き)]に設定した場合を例に説明します。

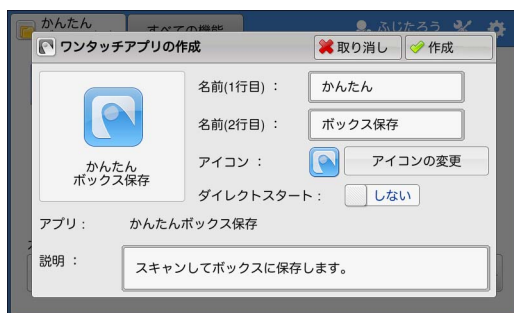
- 2  を押します。



- 3 [ワンタッチアプリの作成] を選択します。



- 4 必要に応じて、各項目を設定します。



補足

- 最長 2 行 (1 行あたり全角で 8 文字 (半角で 16 文字) 以内) の名前を設定できます。
- [名前 (1 行目)]、[名前 (2 行目)]、および [説明] で、「¥」(半角)、「-」(全角)、および「~」(全角) を入力した場合、正しく表示されません。

**■名前（1行目）**

表示されるキーボードで、1行目に表示される文字列を編集できます。

**■名前（2行目）**

表示されるキーボードで、2行目に表示される文字列を編集できます。


**■アイコン**

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更] を押すと、[アイコンの変更] 画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定] を押してください。

**■ダイレクトスタート**

ワンタッチアプリの動作について設定できます。

[する] に設定した場合は、機能ボタンを押すだけで、ジョブが開始されます。また、アイコンに  が表示されます。

[しない] に設定した場合は、機能ボタンを押すと、機能の概要を説明する画面が表示されるので、〈スタート〉ボタンを押してジョブを開始します。

**■アプリ**

ワンタッチアプリの種別が表示されます。この項目は編集できません。

**■説明**

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

**5 [作成] を押します。****補足**

- 作成したワンタッチアプリは、「かんたんメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- 作成したワンタッチアプリの、表示名、アイコン、機能の説明、およびジョブを実行するときの動作は変更できます。

## アプリを複製する

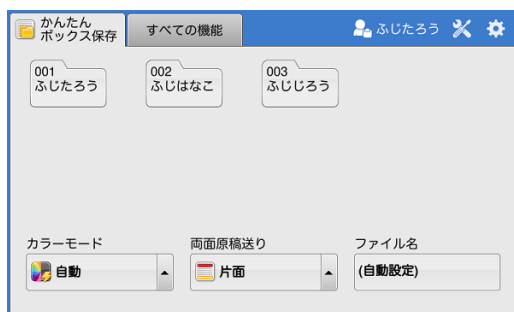
---

「かんたんボックス保存」の、機能の初期値や並び順を変更したものを複製し、「かんたんボックス保存」とは別の機能ボタンを作成できます。

**補足**


- アプリの複製は、かんたんメニュー画面だけで作成、および利用できます。通常のメニュー画面で操作しているときは、[アプリの複製] メニューは表示されません。

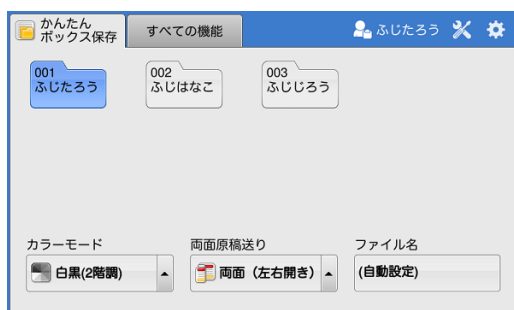
- 1 [かんたんボックス保存] 画面、または [すべての機能] 画面で、作成したいアプリの機能を設定します。



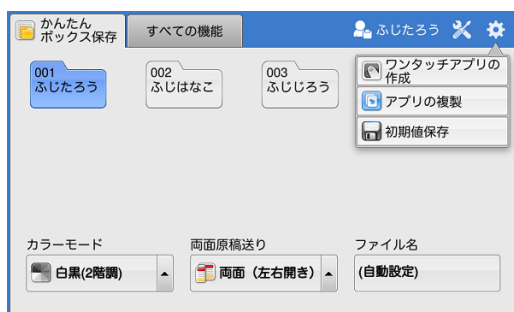
補足

- ここでは、親展ボックスの001を選択し、[カラーモード]を[白黒(2階調)]に、[両面原稿送り]を[両面(左右開き)]に設定した場合を例に説明します。

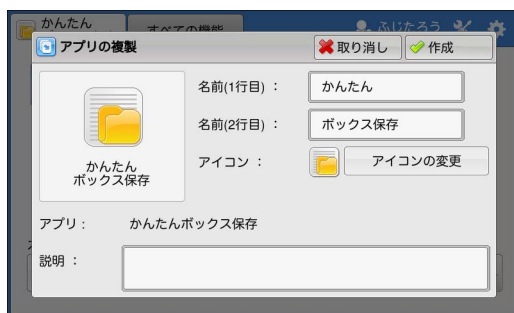
- 2  を押します。



- 3 [アプリの複製] を選択します。



- 4 必要に応じて、各項目を設定します。



補足

- 最長2行(1行あたり全角で8文字(半角で16文字)以内)の名前を設定できます。
- [名前(1行目)]、[名前(2行目)]、および[説明]で、「¥」(半角)、「-」(全角)、および「~」(全角)を入力した場合、正しく表示されません。

**■名前（1行目）**

表示されるキーボードで、1行目に表示される文字列を編集できます。

**■名前（2行目）**

表示されるキーボードで、2行目に表示される文字列を編集できます。

**■アイコン**

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更] を押すと、[アイコンの変更] 画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定] を押してください。

**■アプリ**

アプリの種別が表示されます。この項目は編集できません。

**■説明**

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

**5 [作成] を押します。****補足**

- 作成したアプリは、「かんたんメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- 作成したアプリの表示名、アイコン、および機能の説明は変更できます。

## 管理者設定

---


機械管理者は、[ファイル名] 画面のファイル名ボタンに表示する定型文字列を変更できます。よく使うファイル名を登録しておく、スキャン時にワンタッチで設定できて便利です。

ファイル名ボタンに表示する定型文字列を、スキャンオートと共有することもできます。

**注記**

- 言語をタイ語に設定している場合、設定できません。

**補足**

- 管理者権限のある認証ユーザーの場合は、[かんたんボックス保存] 画面、または [すべての機能] 画面で  ボタンを押すと、管理者設定画面が表示され、同様の設定ができます。

**1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。**

- 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



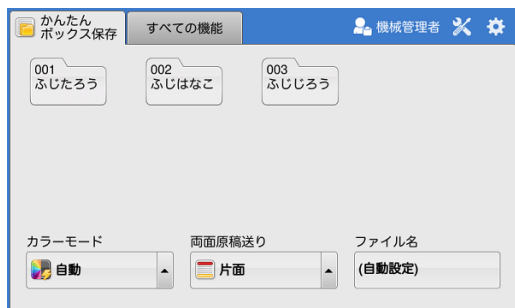
**補足**

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

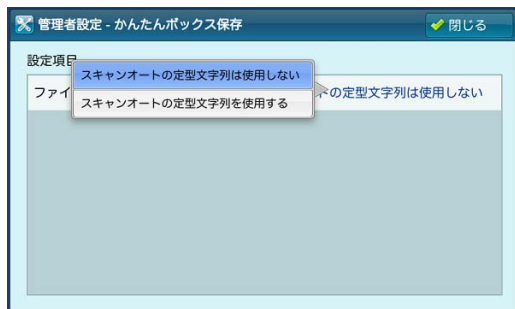
- メニュー画面で、[かんたんボックス保存] を押します。



-  を押します。



- [ファイル名の定型文字列] を押し、表示されるメニューからスキャンオートの定型文字列を使用するかどうかを選択します。



■[スキャンオートの定型文字列は使用しない]

選択すると、かんたんボックス保存で設定した定型文字列が表示されます。

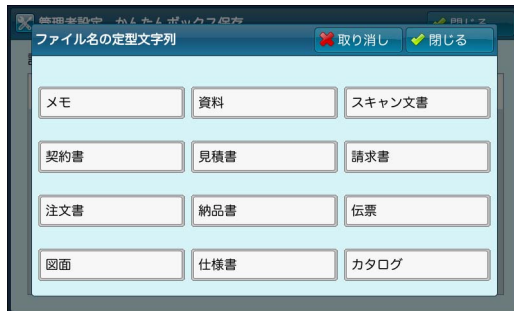
## ■[スキャンオートの定型文字列を使用する]

選択すると、スキャンオートの管理者設定の [ファイル名の定型文字列] で設定した定型文字列が表示されます。

### 補足

- スキャンオートがインストールされていない場合や、スキャンオートのバージョンが古い場合は、この機能は使用できません。

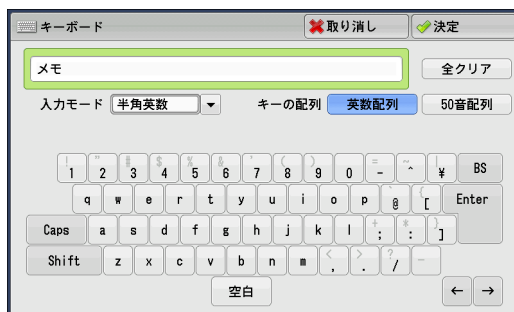
## 6 文字列を変更するファイル名のボタンを選択します。



### 補足

- 初期値として、12 種類のファイル名が登録されています。

## 7 キーボードが表示されるので、文字列を変更し、[決定] を押します。



### 補足

- ファイル名として登録できるのは、全角で7文字までです。最大文字数を超過して入力した場合は、超えた部分を削除して登録されます。
- 「¥」(半角)、「-」(全角)、および「~」(全角)を入力した場合、正しく表示されません。

## 8 [決定] を押します。

[スキャンオートの定型文字列を使用する] を選択した場合は、ここで設定した内容が、スキャンオートの管理者設定の [ファイル名の定型文字列] にも反映されます。

## 9 [閉じる] を押します。

## トラブル対処

「かんたんボックス保存」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由で「かんたんボックス保存」が使用できない場合に表示されます。複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
使用できる親展ボックスがありません。 親展ボックスを登録してください。	このメッセージは、ユーザーが文書を格納できる親展ボックスがない場合に表示されます。認証機能を利用している場合は、各認証ユーザーが作成した親展ボックス、または機械管理者が作成したパスワードのない親展ボックスを使用できます。認証機能を利用していない場合は、一般ユーザー、または機械管理者が作成した、パスワードのない親展ボックスを使用できます。上記の親展ボックスがない場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の [登録 / 変更] > [ボックス登録]、または [登録 / 変更] 画面の [ボックス登録] で、親展ボックスを登録してください。
親展ボックス XXX が削除されました。 使用できる親展ボックスがありません。 親展ボックスを登録してください。	[アプリの複製] で複製した機能ボタンを使用している場合、または [初期値保存] を設定した場合に、設定した親展ボックスが削除され、かつ、他に使用できる親展ボックスがないと表示されます。認証機能を利用している場合は、各認証ユーザーが作成した親展ボックス、または機械管理者が作成したパスワードのない親展ボックスを使用できます。認証機能を利用していない場合は、一般ユーザー、または機械管理者が作成した、パスワードのない親展ボックスを使用できます。上記の親展ボックスがない場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の [登録 / 変更] > [ボックス登録]、または [登録 / 変更] 画面の [ボックス登録] で、親展ボックスを登録してください。
スタートできません。 [ページ連写] を設定しているときは、原稿を原稿ガラスにセットして [スタート] ボタンを押してください。	このメッセージは、[ページ連写] を指定し、かつ両面原稿送り装置に原稿をセットして、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場合に表示されます。[閉じる] を押して前の画面に戻り、原稿を原稿ガラスにセットして、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が使用できない場合に表示されます。複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

また、認証機能を利用している場合、さらに次のようなトラブルが発生することがあります。表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、スキヤンの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキヤナー] の制限を解除してください。
スタートできません。 あなたが使用したスキヤンの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのスキヤンの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] &gt; [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする</li> <li>• [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] &gt; [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす</li> </ul>
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スキヤンの使用を禁止されたユーザーが操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した</li> <li>2. 認証ユーザーとして登録されていない</li> </ol> 1 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキヤナー] の制限を解除してください。 2 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。

## コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

- 1 「かんたんボックス保存」の利用中に、操作パネルの〈ポーズ〉ボタンを 5 秒以上押します。
- 2 コンテンツ情報を確認します。



- 3 「閉じる」を押します。

## 注意 / 制限事項

「かんたんボックス保存」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 認証機能を利用していない場合、本機能では、一般ユーザーまたは機械管理者が登録した、パスワードのない親展ボックスが利用できます。パスワードを設定した親展ボックスは利用できません。  
認証機能を利用している場合については、「認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項」(P.30)をご覧ください。
- 同時に、次の条件において、[読み取り解像度] で [600dpi] を指定すると、メモリ不足によるエラーが発生し、400 dpi でスキャンされます。
  - フルカラー原稿である（[カラーモード] で [自動] を設定し、フルカラー原稿だと認識された場合も含む）
  - ミックスサイズ原稿送りを設定している
  - 両面を設定している
- 本機能は、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）などの機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 追加型アプリケーションである「かんたんボックス保存」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。
- 言語をタイ語に設定している場合、ファイル名は設定できません。
- メール送信のジョブフローが関連付けられている親展ボックスを利用する場合、[ファイル名] 画面で設定したファイル名は反映されません。

### ■認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項

認証機能を利用している場合は、さらに次のような注意制限事項があります。

- 本機能では、各認証ユーザーが登録した親展ボックス、および機械管理者が登録したパスワードのない親展ボックスが利用できます。
- 本機能は、お使いの複合機に IC Card Gate（関連商品）、および IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。
- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、スキャンの利用を制限していても、「かんたんボックス保存」が利用可能な状態となります。
- 認証ユーザーのユーザー名に、半角の「#」、「\$」、「%」、「^」、「&」、「=」、「\」、「@」、「,」、「/」、および「:」が含まれている場合、「かんたんメニュー」画面から本機能を起動すると、エラーが発生して利用できません。
- 認証しないモードでかんたんメニューを表示しているときに、機械管理者でログインした場合は、メニューが更新されません。更新する場合には、リセットボタンを押してください。

# 索引

---

## ア

アプリの複製（かんたんボックス保存） ..... 23

## カ

カラーモード ..... 14

環境設定 ..... 8

かんたんボックス保存 ..... 11

かんたんボックス保存を中止する ..... 13

管理者設定（かんたんボックス保存） ..... 25

## コ

コンテンツ情報（かんたんボックス保存） ..... 29

## シ

初期値保存（かんたんボックス保存） ..... 14, 15

## ト

トラブル対処（かんたんボックス保存） ..... 28

## フ

ファイル名 ..... 18

## ヨ

読み取り解像度 ..... 17

## リ

リストの編集（かんたんボックス保存） ..... 17

両面原稿送り ..... 14

## ワ

ワンタッチアプリ（かんたんボックス保存） ..... 21

## かんたんボックス保存 取扱説明書

著作者 - 富士ゼロックス株式会社  
発行者 - 富士ゼロックス株式会社

発行年月 - 2017 年 4 月 第 1 版

(帳票番号 :ME7820J1-2)